

平成24年度 新規採用教職員辞令交付式祝辞

H24.4.2(月)

本日は、176名の皆さんが、こうして島根県の公立学校の教職員としての第一歩を踏み出されました。心からお祝い申し上げます。

皆さんは、これから「島根の将来を担う人材の育成」という、大変重要な仕事に携わるわけであります。

ご承知のように島根では少子高齢化が進んでおりますが、こうした中であって、「活力ある島根」を実現することが県の最も大事な課題であります。

そのために、この難しい課題に挑戦する、しっかりした力のある若者を、島根は必要としております。

他方、子供たちを取り巻く環境は、近年大きく変化し、非常に厳しい状況となっております。

核家族化の進行、ネットなどを通ずるさまざまな刺激の強い情報の氾濫、子供を保護する役割を果たしていた地域社会の変化などにより、かつてのように「放っておいても、子どもはひとりでに育つ」といった考えは、とても持てない状況になっているように思います。

そうした中では、子どもたち自身が、社会や人との関係の中で、自分で考え、行動して、様々な問題に対応する力、解決する力、まさに「生きる力」を身に付けていかなければなりません。

しかし、それは学校だけではできないことで、やはり、学校、家庭、地域の三者が連携し、社会全体として取り組むことが必要であります。

その中でも、学校における教育が、家庭や地域から信頼されるものでなければ、この三者の連携・協力はうまくいきません。

そのためには、二つのことが大事だと思います。

一つは、教職員一人ひとりが真摯な姿勢、強い情熱、そして温かい愛情をもって子供と接することです。

教育委員会は、現在、子どもたちの「ふるまい向上」を推進しておりますが、皆さんが教職員として、また、一人の大人として、子どもたちの手本となるような「あいさつ」や「ふるまい」をし、思いやりのある行動や言葉づかいを心がけていくことが、極めて大事なことです。

皆さんには、教員としての誇りと自覚を持って子ども達と向かいあい、一人ひとりの子どもとのふれあいを大切にされながら、自己研鑽を積まれるようお願い申し上げます。

もう一つは、学校は地域に支えられ、地域と一体となって子どもたちを支えていく必要があるということです。

そのためにも、教員の皆さんも学校の中だけでなく、可能な限り地域の自然や伝統文化に触れ、地域の人々との交流にも努めて、地域の一員となるよう努めていただきたいと思います。

そうしたことを通じて、子どもたち、保護者、そして地域社会からの理解と信頼を得ることができるものと思います。

これからの、皆さんの澁刺とした活躍を祈念いたしまして、私からの激励の挨拶とします。頑張ってください。